

○計画期間：平成27年1月～平成32年3月（5年3月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成27年1月に国の認定を受けた「石巻市中心市街地活性化基本計画」に基づき、目指す「まち」の姿「彩り豊かな食と歴史が薫る川辺のまち」の実現に向けて、震災で甚大な被害を受けた中心市街地を市民との協働によって各復興事業を展開し、震災前の賑わいを取り戻すため、都市機能の回復及び更なる活性化を目指している。

本市の中心市街地は、景気低迷による小売業の業績不振や郊外型大規模小売店舗の進出による影響に加え、東日本大震災以降は甚大な被害を受けた事業所の閉店、人口減少の加速等、新たな課題も浮かび上がってきている。

このような中、平成28年度は特に石巻駅周辺整備事業の進捗が著しく、市立病院の開院や石巻駅前立体駐輪場の完成、また、平成29年度以降完成予定の（仮称）防災センター整備やにぎわい交流広場の移設に向けての整備が進められており、利便性の向上、賑わいの創出が見込まれる。変化する駅前周辺において、隔週日曜日に駅前で開催される石巻ふれあい朝市は開始から19年が経ち、変わらず石巻の日曜朝の風物詩として賑わいを見せている。

また、川沿いエリアでは、プロムナードの一部完成、生鮮マーケットの着工と進捗が目に見える形まで進んできた。現在、市内に団体客が入れる大型生鮮販売店がないため、平成29年6月オープン予定の生鮮マーケット完成は本計画目標達成に大きく寄与すると期待されている。平成28年度はオープンに向けた準備が進められてきたが、ハード整備後のソフト面でも誘客に向けた工夫が必要であると考えられる。また、中心市街地全体で生鮮マーケットの集客力を活かし、相乗効果を生み出せるよう、体制の整備が検討されている。

一方で、平成28年11月に開催された「ポケモンGO」イベント関連の影響で一時的に市内中心市街地の交流人口が増えた際に、交通渋滞や来街者のマナー等について課題が浮かび上がっており、交流人口の増加については住民理解や受入体制を考慮しつつ、計画遂行が必要である。

2. 平成28年度の実績等に対する中心市街地活性化協議会の意見

石巻商工会議所や街づくりまんぼう、市が事務局となり、市民・事業者で構成する中心市街地活性化協議会において、市街地再開発事業の事業内容や手法の変更、事業実施期間の変更等について、官民が密接な連携をしながら中心市街地の活性化の総合的かつ一体的な推進に関する協議を行うこととしている。

平成28年度は、平成29年2月の協議会臨時総会において、同年1月に申請をした変更認定について、概要を説明し、活性化に向けた取組みの周知を図った。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
定住人口の増加	中心市街地における定住人口	2,777人 (H25)	3,812人 (H31)	3,068人 (H29.3)	①	①
交流人口の増加	2施設の利用者数	241,208人 (H25)	1,241,200人 (H31)	169,465人 (H28)	③	③
交流人口の増加	歩行者・自転車通行量	15,002人 (H25)	16,950人 (H31)	15,412人 (H28.5)	③	③

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地における定住人口」については、震災後初めて平成27年度に増加に転じ、平成28年度も目標値達成に向け、順調に推移している。一部地区では減少が見られるものの、市街地再開発事業、復興公営住宅整備事業を行う中央地区、立町地区を中心に大幅に増加しており、全体としても前年比186人増となった。

「2施設の利用者数」については、石ノ森萬画館の入場者数が再オープンで話題となった平成25年以降は横ばい、あるいは減少傾向が続く中、平成28年は前年比減少となったものの、かわまち交流拠点整備事業として石ノ森萬画館対岸に新たに整備される生鮮マーケットが、平成29年度6月にオープンすることにより、本指標は平成29年度以降に大幅に増加すると推測される。

「歩行者・自転車通行量」については、震災後平成25年度以降実施の中では最も高い数値となった。要因としては市街地再開発事業による新規住宅への入居開始、商業施設店舗の開業が考えられる。なお、平成29年度は、生鮮マーケットが6月オープン予定としていることから、更に通行量の増加が見込まれる状況となっている。

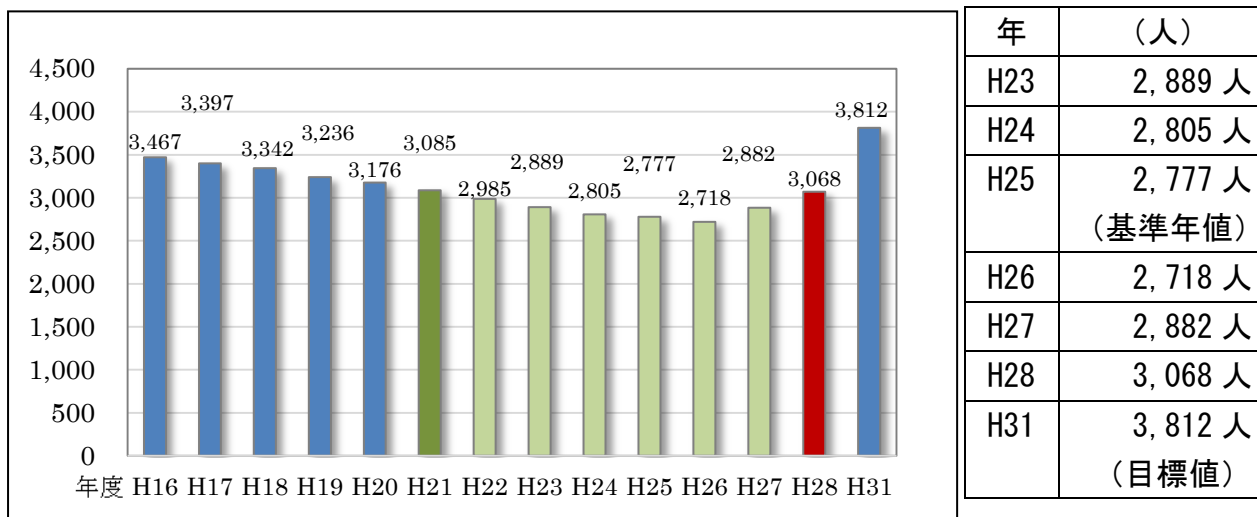
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

なし

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地における定住人口」※目標設定の考え方基本計画 P63～P66 参照

●調査結果の推移



※調査方法：住民基本台帳法

※調査月：毎年度3月末日

※調査主体：石巻市

※調査対象：中心市街地に居住する人数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 復興公営住宅整備事業（石巻市）

事業完了時期	平成23年度～平成28年度【済】
事業概要	東日本大震災により住居を失った市民に対し、復興公営住宅の供給を図る。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は5月に中央一丁目南35戸、8月に日和が丘一丁目40戸、9月に中央一丁目東54戸、同月立町二丁目21戸入居開始となった。全体で150戸が入居可能となり、予定されていた復興公営住宅の整備は全て完了し、当該地区における定住人口増加に繋がったものと考えられる。

②. 市街地再開発事業（民間事業者）

事業完了時期	平成24年度～【実施中】
事業概要	被災市街地において、商業施設や住宅等の複合施設を建設するとともに、屋外空間の一体整備を行う再開発事業者に対して補助金を交付し、再開発事業を支援する。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は復興公営住宅、民間分譲住宅合わせて209戸の整備が完了している。また、併せて整備された商業施設も次々と開店し、

当該地区の人口増加、交通歩行者・自転車通行量の増加に起因したものと考えられる。

各地区の状況としては、中央三丁目1番地区では、平成28年度内で整備した住宅、商業施設店舗の整備が完了した。

立町二丁目5番地区では商業施設や高齢者向け施設等の整備工事が完了し、平成28年10月に公営住宅21戸、平成29年2月に分譲住宅32戸への入居を開始した。商業施設については同年11月から順次開店、平成29年4月には高齢者福祉施設が開業予定となっている。

中央一丁目14・15番地区では平成28年10月に公営住宅54戸、同年11月に分譲住宅25戸への入居を開始した。

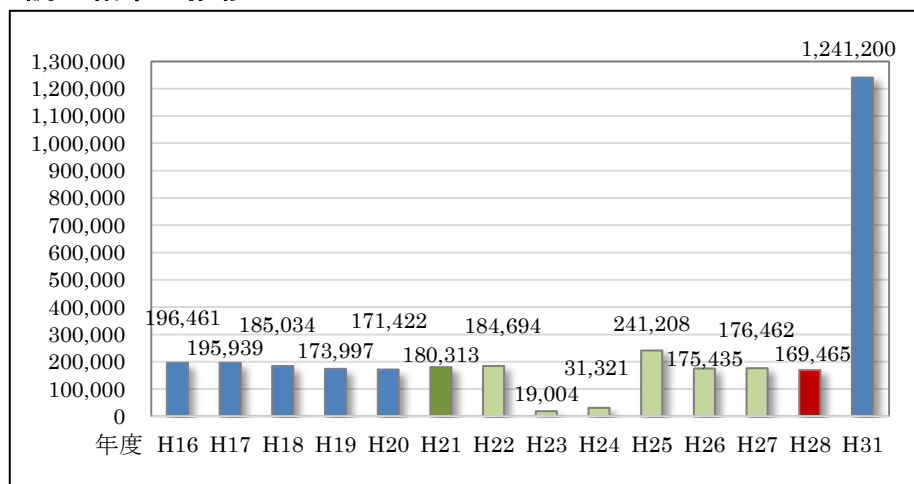
●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地における定住人口は前年比186人増となった。市立病院の開院や商業施設のオープンなどの公共事業や民間で計画されている複数の市街地再開発事業との融合により、より快適な居住環境への改善が図られること、また、平成29年3月24日に計画変更認定され、新規地区として6地区の優良建築物等整備事業が追加されたことにより、中心市街地に新たな賑わいを創出し、更に定住人口の増加が見込まれる。

今後、年度ごとに事業の進捗状況等を調査し、状況に応じた改善措置を講じていく必要がある。

「2施設の利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P67～P69 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H23	19,004人
H24	31,321人
H25	241,208人 (基準年値)
H26	175,435人
H27	176,462人
H28	169,465人
H31	1,241,200人 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度12月末

※調査主体：石巻市

※調査対象：石ノ森萬画館入場者数、観光交流施設利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 石ノ森萬画館実施事業（石巻市）

事業完了時期	平成13年度～【実施中】
--------	--------------

事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
事業効果及び進捗状況	平成25年はリニューアルオープンのイベントや復興支援等の特殊要因により年間入場者数は241,208人となったが、それ以降横ばい、あるいは減少傾向となっている。平成28年の入場者数は前年比微減となった。 著名な漫画家や声優、歌手を招聘した大規模なイベントの実施のほか、小規模のイベントも数多く開催し、マスコミやSNSで情報発信をし、集客を行っている。10月から開催された企画展ぼのぼの展、11月には期間限定で実施されたポケモンGOイベント関連の効果もあり、10月から12月の入場者数は前年同月を上回っている。

②. かわまち交流拠点（生鮮マーケット等）整備事業（石巻市）

事業完了時期	平成25年度～平成32年度【実施中】
事業概要	街なかの賑わい創出を図るため、川と一体的なまちづくりとして、生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を土地区画整理事業等により整備する。
事業効果及び進捗状況	平成29年6月にオープン予定の生鮮マーケットは、水産業の販路開拓、市民にとっての憩いの場、観光客にとっての特産品が購入できる場としての機能を備え、施設の利用者増加を期待される。「石巻市観光交流施設整備計画」に基づき、類似施設の実績を基にした複数の推計値の中間値に近い1,000,000人を利用者数と設定している。 平成28年度の進捗状況としては11月に生鮮マーケット工事着工、3月に公共施設実施設計完了、立体駐車場については3月末時点で実施設計、既存基礎解体工事に入っている。 立体駐車場は平成29年9月の完成、公共施設は平成30年3月の完成を予定している。かわまち交流拠点を構成する施設は順次、完成予定であり、更なる施設の利用者増加に繋がると考えている。

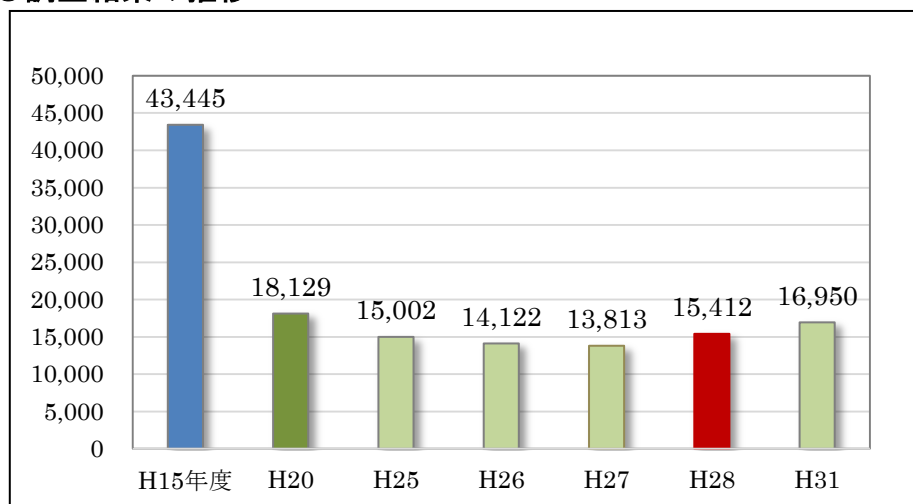
●目標達成の見通し及び今後の対策

施設の利用者数の最新値は基準値を下回っているが、石ノ森萬画館の入場者数のみの数値であり、平成29年6月の生鮮マーケット、平成30年4月の公共施設のオープンにより、相乗効果が生まれると考えられる。

各施設の利用者数及び、事業の進捗状況については、毎年度確認をするとともに検証を行い、目標値達成に向けた改善策を講じていく必要がある。

「歩行者・自転車通行量」 ※目標設定の考え方基本計画 P67～P69 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H15	43,445 人
H20	18,129 人
H25	15,002 人 (基準年値)
H26	14,122 人
H27	13,813 人
H28	15,412 人
H31	16,950 人 (目標値)

※調査方法：石巻市中心市街地通行量調査

※調査月：平成15年10～11月、平成20年5月、平成25年11月、平成27年3月、平成27年11月、平成28年5月

※調査主体：石巻市

※調査対象：平日、休日における歩行者と自転車通行量の合算値

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石ノ森萬画館実施事業（石巻市）

事業完了時期	平成13年度～【実施中】
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
事業効果及び進捗状況	<p>平成27年5月のJR仙石東北ラインの開通により、移動時間が短縮し利便性が向上しており、石ノ森萬画館を訪れる歩行者・自転車の増加が見込まれることから、歩行者・自転車通行量目標値を1,486人に定めている。</p> <p>石ノ森萬画館の平成28年度実施イベントの中には平成28年7月にJR東日本が企画した「マンガでつなGO東北コミックトレイン」の歓迎イベントを石巻駅で開催、10月下旬から12月上旬まで中心市街地の回遊性を図るスタンプラリーのイベントを実施しており、歩行者の増加に繋がっていると考えられる。</p> <p>平成27年5月にJR仙石線の全線開通により交通インフラが完全復旧し、石巻駅1日平均の乗車人員（定期利用者を除く）は平成25年度637人、平成26年度602人、平成27年度1,159人と増加していることから、市外からの訪問者による歩行者通行量増加に繋がっていると考えられる。平成28年度については発表前であるが、平成27年度同等の利用者と推測する。</p>

②. かわまち交流拠点（生鮮マーケット等）整備事業（石巻市）

事業完了時期	平成25年度～平成32年度【実施中】
事業概要	街なかの賑わい創出を図るため、川と一体的なまちづくりとして、生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を土地区画整理事業等により整備する。
事業効果及び進捗状況	<p>生鮮マーケットの完成によって、市民、観光客問わず全体の生活・買い物利便性の向上が期待されることから、生鮮マーケットを訪れる方の歩行者・自転車通行量の目標値を2,684人に定めている。</p> <p>各施設の平成28年度整備進捗状況は11月に生鮮マーケット工事着工、3月に公共施設実施設計完了、立体駐車場については3月末時点で実施設計業務、既存基礎解体工事に着手した。生鮮マーケットは平成29年6月オープン、立体駐車場は同年9月の完成、公共施設は平成30年3月の完成を予定している。</p> <p>平成29年6月の生鮮マーケットオープン後に実施する通行量調査の指標に反映されると推測される。</p>

③. 石巻市立病院整備事業（石巻市）

事業完了時期	平成23年度～平成28年度【済】
事業概要	震災により、壊滅的な被害を受けた石巻市立病院について、今秋開院を目指し、再建整備及び医療機器等購入を実施する。
事業効果及び進捗状況	<p>平成28年9月、JR石巻駅前に市立病院が開院し、事業は完了した。駅から徒歩での移動が可能になり、鉄道やバスを利用して通院する外来患者やお見舞い者数が平成29年度の通行量調査の指標に反映されると考えられる。なお、歩行者・自転車通行量の目標値を522人に定めている。</p> <p>開院後に別事業として、市役所と病院を繋ぐ連絡通路の開通を計画されていることもあり、事業完成後には歩車分離により安全が確保され、より駅前の利便性が向上されることが見込まれる。</p>

④. 石巻市子どもセンター事業（石巻市）

事業完了時期	平成25年度～【実施中】
事業概要	子どもセンターにおいて、小中高生が中心となり中心市街地活性化に係る商店街との連携企画を実施し、一体となったソフト事業を展開する。
事業効果及び進捗状況	<p>当施設において、商店事業者と子ども達で企画したイベントを通して商店街の賑わいづくりを行うことにより、歩行者・自転車通行量の増加が見込まれることから、目標値を112人に定めている。</p> <p>平成28年度の入場者数は28,771人、1日平均89.2人で</p>

あり、通行量に相当程度貢献していると推測される。

平成28年度は、商店街や石ノ森萬画館の協力のもと商店街でハロウィン祭りを実施、こどもの日に子どもの声を発信しようと市長や市役所職員との意見交換会開催等、こどもを対象とした独自のイベント企画を行った。また、当施設で子育てサークルの活動もしており、乳児の親にとっての憩いの場としても利用されている。

●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者・自転車通行量の最新値（15,412人）が平成25年度の基準値（15,002人）を上回り、昨年比大幅増となった。平日、休日共にJR石巻駅及び市役所周辺地点に増加が見られ、全体としての通行量増加に繋がった。次回の調査は平成28年9月に開院した石巻市立病院、平成29年6月オープン予定の生鮮マーケット後初めての調査となることから、どのような変化、効果が出ているかを確認し、次年度以降の計画実施に活かしていきたい。